

市長と地域の懇談会【御菌】

・開催日時 令和2年12月21日（月） 19：00～20：00

・まちづくり協議会区域名 御菌まちづくり協議会

・会場 御菌公民館

・参加者 16人

《質問・意見》

- ・御菌中学校入口の三叉路にある4か所の海拔表示についてそれぞれ表示が違う。こういう所が他にもないかと心配している。市全体で確認・見直しが必要である。

《回答》

- ・同じ場所で同じ表示が当然のことであり、早急に現場を確認し直すべきところは直します。

《質問・意見》

- ・空き家について外壁等が壊れて倒れてきており非常に危険である。3年前に空き家対策係に見ていただき写真も撮ってもらった。その後対応していない。他の地域で相続問題により解体できずに年月が経ち大変な危険な空き家もあると聞く。市全体で早急に空き家対策が必要である。

《回答》

- ・空き家対策は市・国の大きな課題である。国は平成27年に空き家対策基本法を制定している。市では以前に自治会等の協力を得て調査したところ危険な空き家が約380件あった。それから所有者に対し通知や電話にて解体等を依頼し、現在は約180件となっている。相続問題が解決していない空き家があることも事実である。行政代執行については手続上最低約1年半必要である。また、簡単に市が解体すると持ち主の管理意識の低下を招く恐れがある。現在、行政代執行のルール作りをしている。

《質問・意見》

- ・以前に上条地区の津波緊急避難所について津波避難タワーがないため避難所の拡大を提案したところ、マンション6～7棟の所有者と協定を結び避難所としているので大丈夫と回答があった。しかし、所有者の理解はあるが、入居者の理解は得られているのか、また、玄関に鍵がかかっている場合もある等課題もあるため、マンションを避難所に指

定していることについてもう一度考えていただきたい。

《回答》

- ・東日本大震災を機に避難タワーや学校の外付け階段等、津波緊急避難所の整備を行ってきた。その地域の人口や高齢者等の移動速度等を考慮した配置を検討し、現在はすべての整備が完了している。マンションについては緊急的な一時避難として共有部分への避難としており、居住者の理解については所有者、管理会社との協議が必要と考えます。

《質問・意見》

- ・玉城町、明和町、度会町と合併を行う動きはあるのか。

《回答》

- ・平成の大合併は国策で進められてきた。現在は定住自立圏というものがあり、分野ごとに市町が協力できる体制づくりを行っている。

《質問・意見》

- ・現在、タブレット授業について一部の学年で行っているが、そのタブレットを使った宿題が21時までとなっている。家庭の事情によっては21時までにできない児童もいるため来年度以降検討していただきたい。

《回答》

- ・検討します。

《質問・意見》

- ・民生委員の推薦や埋葬許可証、官民境界立会等自治会長の役割は多く、津市のように「自治会ハンドブック」の作成を検討していただきたい。自治会によっては1年交代のところもある。自治会長が自分の役割を理解することで行政のよき理解者が増えるという意味からもお願いしたい。

《回答》

- ・市から自治会やまち協への協力依頼については、地域によってやり方が違う所もあるが、ハンドブックの作成については津市も参考に検討したい。

《質問・意見》

- ・丸二マンション前の道路工事が危険である。丸二マンション前の道路の見通しは。

《回答》

- ・用地買収は見通しが立っていないのが現状である。その中で交通安全対策を万全に行うよう検討している。

《質問・意見》

- ・伊勢市駅前ビルについて、市は何階に入居するのか。福祉健康センターが入るのか。

《回答》

- ・（伊勢市駅前再開発の経緯・内容を説明）A・B・C地区とあり、市はB地区の5～7階に入居予定である。子育て支援センターや保健師の配置等、総合福祉相談のための機能等により、多様な暮らしの相談を1か所でサポートできる体制づくりを行いたいと考えている。

《質問・意見》

- ・まち協の交付金について一律ではなく人口や戸数を配慮した交付を行っていただきたい。

《回答》

- ・これまで一律100万円としていたものを、昨年から世帯数を考慮して90～120万円を交付している。これまで課題を整理して今の形になった。継続して今の方法で進めていくとは考えていない。いろいろと提案していただきたい。

《質問・意見》

- ・大湊・神社小学校の跡地利用についてどのような予定があるのか。民間企業がお金を出して使用するとは思えない。早く決断を出したほうがいいと思う。

《回答》

- ・避難所に指定されていれば優先的に残していきたいと考えている。建物の老朽化や避難タワーの建設等経済比較が必要。コロナ禍もあり津波の想定のある場所は中々企業の進出は難しい。旧沼木中学校はまち協やドローンの訓練、キャンプ等で利用している。今後色々な実験をしていきたい。